古文単語 活用形から見出し語へ ②

高校／本文の形を一覧表で引ける形にもどす

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

――線の語を、単語一覧表で引ける形（見出し語＝終止形）にもどし、活用の種類と活用形を書きなさい。
右の3つの枠に、左から順に見出し語・活用の種類・活用形を書きます。
活用形は、――線の語のすぐ下に続く語（助動詞・助詞・体言など）を手がかりに決めます。

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
形容詞ク活用	く・から	く・かり	し	き・かる	けれ	かれ
形容詞シク活用	しく・しから	しく・しかり	し	しき・しかる	しけれ	しかれ
形容動詞ナリ活用	なら	なり・に	なり	なる	なれ	なれ
動詞四段活用	ア段	イ段	ウ段	ウ段	エ段	エ段

形容詞の連用形「く・しく」は、「て」などの前で「う・しう」になることがある（ウ音便）。

1 それを見れば、三寸ばかりなる人いとうつくしうて居たり。（竹取物語）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

2 花は盛りに、月はくまなきをのみ見るものかは。
（徒然草・第百三十七段）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

3 いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひける
なかに、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて
時めきたまふありけり。（源氏物語・桐壺）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

4 やがてかけこもらましかば、くちをしからまし。
（徒然草・第三十二段）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

5 「我こそ死なめ。」とて、泣きののしることいと堪へがたげなり。（竹取物語）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

6 東西は海ちかくていとおもしろし。夕霧たちわたりて、いみじうをかしければ（更級日記）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

7 つれづれなるままに、日ぐらし硯に向ひて、心にうつりゆくよしなしごとを（徒然草・序段）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

8 上達部、上人なども、あいなく目を側めつつ
（源氏物語・桐壺）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

9 次に医術をならふべし。身を養ひ人を助け、忠孝のつとめも、医にあらずばあるべからず。
（徒然草・第百二十二段）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

10 因幡の国に、何の入道とかやいふものの女、かたちよしと聞きて、人あまたいひわたりけれども
（徒然草・第四十段）

見出し語 ／ 活用の種類 ／ 活用形

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます